

# 大田幸陽会ラナハウス西糶谷

## 平成 30 年度事業報告

### 1, 運営方針

- ・ 障害のある人及びその保護者の高齢化が進む中、年をとっても、障害を持って、ひとり暮らしになっても、安心して暮らせる住宅の確保が求められる中で、これらのニーズに沿ったサービス付き高齢者向け住宅として関係機関と連携し運営する。
- ・ 見守りセンサーによる安否確認や専門家による定期的な生活・健康相談等を行うほか、居宅介護等・訪問介護事業所であるケアサポート幸陽を併設しているメリットを生かして、高齢ご夫婦・ひとり暮らしでも安心して暮らせる住宅として運営する。
- ・ サービス付き高齢者向け住宅、障害者生活ホーム（第一、第二幸陽ホーム）、ケアサポート幸陽、相談事業さんさん幸陽の複合施設として、各事業の運営が円滑に行えるよう、適切に施設を管理する。

### 2, 職員等配置 (3/31 現在)

職員 4 名 (兼務)、専門講師等 3 名 合計 7 名

### 3, 今年度の重点目標に対する取り組み状況

	重点目標	具体的取組の内容	回数・日付	人数	法人 重点
1	<u>施設メンテナン</u> <u>スの充</u> <u>実</u>	入居開始 7 年を超えたことから、専門業者による建物内配水管の高圧洗滌に加えて、自動ドアの保守点検を定期化に向け調整中。加えて新見守りセンサーの導入後の保守を継続。	5 月  通年		1)
2	<u>西糶谷二丁</u> <u>目町会等</u> <u>の連携</u>	災害時に強い町づくりを目指して、西糶谷二丁目町会が行っている避難行動要支援者委員会と連携を図り、災害時に自力で避難することが困難な入居者をバックアップできる体制づくりに参画する。加えて、糶谷地区福祉施設連絡会への参加と連携。	通年  2 回 30/4/18, 6/12, 10/19, 31/2/6		2)
3	<u>安全管理の</u> <u>推進</u>	居住者が安心して暮らせるよう、風水害や火災等に対する危機管理に万全を期すとともに、災害時に備えて飲料水や食料の備蓄管理。ラナハウスとしての域防災訓練への参加。 ⇒台風時に入口付近に土嚢を積むなど対策実施。	通年		1)
4	<u>入居者サー</u>	① 見守りセンサーによる安否確認、緊急通報	通年		1)

	<u>ビスの提供</u>	<p>装置への対応及び無料生活・健康相談会の定期的な開催により、居住者が安心して暮らせるサービスを提供する。</p> <p>⇒毎日朝 9 時にモニターを確認。健康相談会を毎月実施。</p> <p>②緊急時対応用に 30 年 1 月に更新設置した AED のメンテナンスを定期的に行う。</p> <p>⇒毎月実施している。</p> <p>③ 施設管理や見守りサービスに起因する不測の事故に備えて居住者に対する十分な補償を行うため、高齢者向け住宅賠償責任保険を更新する。</p> <p>⇒更新した。</p> <p>④ 26 年度から活動を開始している手芸サークル「ラナハウスえがおクラブ」を継続し、第一、第二幸陽ホームを含む入居者間の交流と余暇の充実を図る。</p> <p>⇒第三・四幸陽ホームにも声掛けし利用者が参加した。</p> <p>⑤ 地域包括支援センター糶谷との連携を深め、地域での見守りを強化すると共に、フレイル予防や認知症対応についての知識を深める。</p>	① 毎日		5) 6)
			② 毎月		
			③		
			④ 原則第 4 日曜日 5 回		
5	<u>ケアサポート幸陽との連携</u>	<p>高齢者向けサービス付き住宅に、訪問介護事業所であるケアサポート幸陽が併設されているメリットを生かした情報の共有。</p> <p>⇒入居利用者の要望を受け速やかに対応している。</p>	通年		1)

#### 4. 利用者受入等・年間作業売上金の分配 \*日数・%等は前年同期比

開所日数(実績)	365 日	±0	利用率平均(実績)	96.8%	%
年間作業売上金の分配	当該項目適用なし				

\*平成 30 年 8 月 1 日付けで新規の入居者あり、満室となる。(15 室)

平成 30 年 12 月 18 日付け退去。(1 室空き)。

平成 31 年 1 月 29 日付けで新規の入居者あり、満室となる (15 室)

#### 5. 年間行事

	実施内容	回数・日付	人数
4 月	無料相談会・えがおクラブ	1 回・4/23	9 名

5月	無料相談会・えがおクラブ	1回・5/27	11名
6月	無料相談会・えがおクラブ	1回・6/17	9名
7月	無料相談会・えがおクラブ	1回・7/22	8名
8月	無料相談会・えがおクラブ	1回・8/26	11名
9月	無料相談会・えがおクラブ	1回・9/23	10名
10月	無料相談会・えがおクラブ	1回・10/28	10名
11月	無料相談会・えがおクラブ	1回・11/25	12名
12月	無料相談会・えがおクラブ	1回・12/23	10名
1月	無料相談会・えがおクラブ	1回・1/27	12名
2月	無料相談会・えがおクラブ	1回・2/24	9名
3月	無料相談会・えがおクラブ	1回・3/24	9名

## 6. 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	地域相談会	平成29年度に引き続き、地域包括支援センターと連携し、地域無料相談会の開催予定。 事業所内体制により開催協議行えず。	通年	—

\* 下半期、中間的就労受け入れに向け『はたらくサポートとうきょう』に登録した。

## 7. 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容	回数・日付	人数
1	地域交流・連携	・糞谷地区福祉施設連絡会参加	上記3 の2に 記載	
2	福祉人材受入	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	
3	広報活動等	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	

\* 下半期、糞谷地区の『避難行動要支援者支援委員会』に参加（11/5）。

## 8. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

目的：虐待防止・人権擁護の認識強化と、地域生活支援に係る支援力の強化を図る

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	
2	外部研修	障害者生活ホーム事業報告に準じる 一般社団法人サービス付高齢者向け住宅協会研修 (サ住協) 予定	通年	
3	自己研鑽支援	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	
4	各種マニュアル整備	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	

## 9, 権利擁護・虐待防止の取り組み

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	虐待防止	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	—
2	権利擁護	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	—
3	苦情解決	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	—
4	個人情報保護	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	—

## 10, 法令遵守に関する取り組み

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	法令遵守	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	
2	「働きやすい職場」づくり	障害者生活ホーム事業報告に準じる	通年	

## 11, 危機管理

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	防災関連	11月糶谷地区定期総合防災訓練への参加。	通年	ラナハウス 居住者 1名
2	緊急時対応	見守りセンサーによる安否確認。緊急時のオンコール（管理監督職員の緊急連絡用携帯電話の常時所持）対応の実施。 災害時に備えて飲料水や食料の備蓄管理。ラナハウスとしての地域防災訓練への参加。	通年	